

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	コロナが5類となり運営推進会議も通常開催に戻りました。地域の知見者と顔を合わせた時間で、今後の地域の在り方について有効な意見交換・収集をした一年となりました。ですが、ご家族に議事録の送付、参加を呼びかけ実施までに至っておりません。	1)運営推進会議の議事録を全家族に送付し運営状況を報告していく。また、全家族に対しご意見を頂く事とする。 2)ご家族へ運営推進会議開催を通知して、ご家族の参加を呼び掛ける。	1)ご家族に運営推進会議の議事録を送付する 2)ご家族に対して、ご意見の有無を確認し有る場合はご意見を返送頂く 3)ご意見について、回答を行っていく 4)開催の事前通知して、ご家族の参加をお願いする	5ヶ月
2	6	身体拘束廃止リスクマネジメント委員会を中心とした委員会の開催を定期的に実施し全職員に対し「身体拘束廃止に関する指針」に基づいたケアを行い、勉強会・身体拘束確認表を繰り返し行う事で拘束のないケアの徹底に努めています。スピーチロックによる拘束について研修を行っているが、虐待の芽チェックリストを用いた活動に至っていない。	1)身体拘束確認表と合わせて、虐待の芽チェックリストを用いて、普段のケアを振り返りを行っていく。	1)身体拘束確認表を虐待の芽チェックリストを用いて、普段のケアの振り返りを行っていく。 2)上記内容を実施し、普段から互いにスピーチロック等を確認して注意出来るようになる。	3ヶ月
3	35	避難訓練を概ね年2回実施している。発電機の動作確認や消防署職員も来苑。法人内ではセコムの方の安否確認システム・災害時応援体制を構築している。災害対策は運営推進会議を通じて地域と相互理解の下、お互いが協力しあえる支援の同意を得て、今後共同での訓練を検討する必要がある。	1)避難訓練に参加できなかった職員も、訓練内容・結果を把握する事で、災害発生時に行動できるようになる。また、今後、地域と連携して避難訓練を行う。 業務継続計画を話し合い、決まった内容を全職員へ周知行う。	1)避難訓練の実施後、全職員へ訓練結果、反省点を周知を行う 2)業務継続計画の内容を委員会で話し合い、具体的な内容を全職員へ周知していく 3)運営推進会議に参加されている、地域の方と協力して避難訓練実施に向け話し合いを行う	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月